



作並・回文の里 タイムス

【編集・発行】

回文の里づくり実行委員会

〒989-3431

仙台市青葉区作並字相ノ沢 27

JR 作並駅内宮城地区観光案内所内

電話 022-395-2052

発行者：委員長 森谷 寛

編集：事務局 佐藤照彦 相沢良雄

第12回全国回文コンテスト 今年も全国各地から多数の応募がありました。

恒例の第12回全国ことば遊び回文コンテスト・交流大会「郵送の部」の応募が昨年12月31日に締め切られ、今年も、北は北海道、南は鹿児島県まで全国各地から257点の作品を受けました。

これは昨年の673点の4割に満たない応募数でした。内訳は、句の部97点、歌の部44点、自由の部109点、チビツ子の部7点となっており、応募数が激減したのは、昨年と比べ、団体での応募(神戸市内の高校と仙台市内の小学校)が今回は全くなかったことが大きな原因です。

審査は順調に進み、第2次審査、最終審査へ

応募があった作品は、1月16日(土)に回文の里づくり実行委員会による予備審査で句の部56点、歌の部44点、自由の部59点、チビツ子の部7点が選考され、第12回交流大会参加者が審査する第1次審査に進みました。そして、2月14日時点でまとまった第1次審査結果を受けて、句の部21点、歌の部23点、自由の部21点、チビツ子の部5点が専門

審査員による第2次審査に回されました。第2次審査に残った作品は、いよいよ、交流大会第1日目に行われる第2次審査で各部門5点ずつに絞られ、交流大会参加者から提出された自由題作品とともに、最終審査を受けることとなります。

最終審査は、交流大会の中で専門審査員と大会参加者の投票により行われ、得票に応じて各賞が決定します。



熱心に審査する専門審査員(昨年)

これまでの回文コンテストへの応募状況(概要)

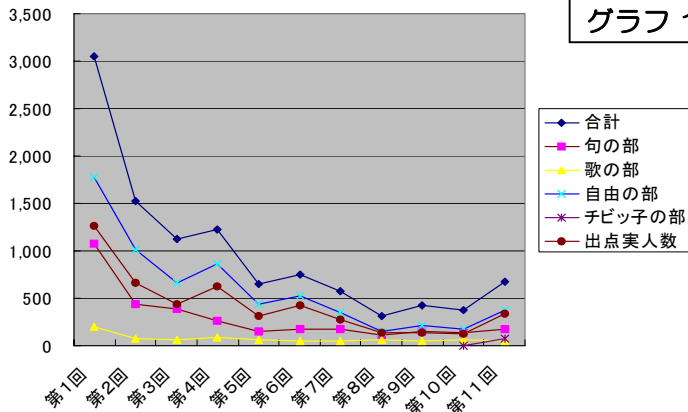
第1回〜第11回コンテストの応募の推移

郵送の部のコンテストは、第12回を数えますが、グラフィ1のように初期(第1回〜第4回)に比べると全体として減少傾向にあります。第1回目が極端に多いのは、1人当たりの応募点数を制限しなかったことによりです。第5回以降は、応募者の実人数(各部門の重複応募を除いた応募者数)も作品総数と同じように減少傾向にあります。

が、この中で、第5回以降、次第に常連の応募者の応募に限定されつつあり、新顔の応募が減り続けているという事態が進んでいます。特に第8回以降、その傾向が顕著に現れ

全国回文コンテスト郵送の部作品応募状況の推移

(単位:点)

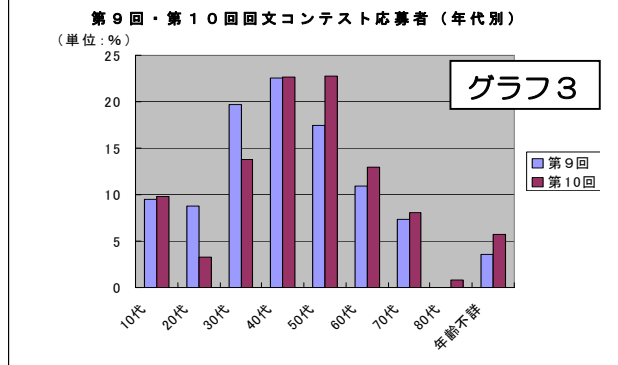
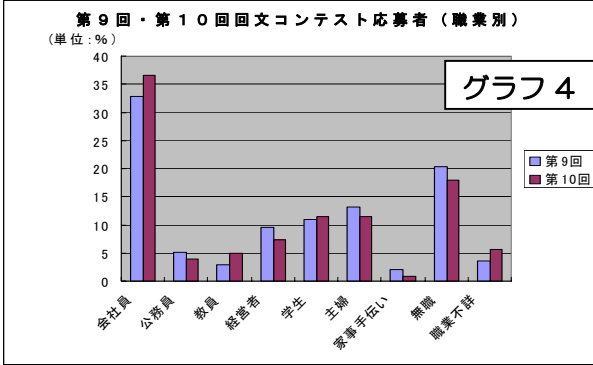
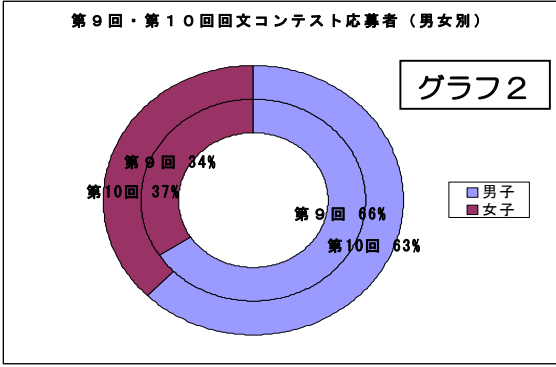


グラフ1

てきています。また、グラフからは、応募総数と自由部門の応募数、応募者の実人数がほぼ同様の折れ線の形になっていることが見て取れよう。三者に深い関係があることがうかがえます。一方、常連の熟練の応募が中心となりつつある中、これに学校などから団体での応募があったときに、応募点数の浮き沈みが激しく出る傾向があるようです。(一面へ)

(一面からの続き)
応募者の内訳

第9回と第10回の応募状況から応募者の内訳を調べてみますと、男女別では、グラフ2・3・4のように男子の6割以上、女子が35%前後で男子の方が多く応募しています。年代別では、第9回と第10回とも30代、40代、50代が多く、職業別にみると、会社員が圧倒的に多く、それに無職、主婦、学生が続いています。第9回と第10回の応募状況からは、以上のような結果が表れました。



作並湯の駅ラサンの一年

世界の料理が登場し、雀踊りや太鼓、三味線などが披露されました。10月～11月にかけては、作並の清流と溪谷美に



「湯の駅ラサンタ」が昨年10月19日にオープンしてから早一年が経過しました。スコットランドの言葉で「温かさ、温もり」の意味を表す「ラサンタ」は、誰かが言った屋根のない博物館という自然豊かな恵まれた環境の中で、オープン以来、先月まで約5万6千人の来場があり、盛況を博しています。

昨年8月29日(土)に、「ウイスキーの父を偲ぶ交流イベント」《竹鶴政孝生誕祭》が開催されました。ニッカウヰスキー仙台工場開設40年、創業者竹鶴政孝氏の生誕115年を記念して、作並振興観光協会等が主催しました。

接し、健康効果も実感できる《ノルディックウォーキング》が、「鳳鳴四十八滝コース(6キロ)」と「奥新川コース(10キロ)」の2ルートで開催され、約120名の市民の参加がありました。



10月18日には、ラサンタ周年記念イベントが開催され、隠れた名瀑『作並大滝』の見学会が行われました。10月～12月の最終土曜日の夕べには、在仙のミュージシャンを招いてのジャズフェス「おとなの演奏会」が開催され、オリジナルの作並カクテルを味わいながら心地よい演奏に酔いしれていました。

第3回回文かるた大会・回文教室を開催

2月6日(土)に回文かるた大会、13日(土)に回文教室を宮城西市民センターで開催しました。

かるた大会は3年生以下と4年生以上に分かれて3回戦行われました。結果は次のとおりでした。

- 低学年
- 1位 佐藤 薫君 88点
 - 2位 小林雅望さん 47点
- 高学年
- 1位 佐藤 司君 76点
 - 2位 佐藤佑一君 75点
 - 3位 瀬上翔平君 70点

回文教室には、子供と大人合計10名の参加があり、回文の里づくり実行委員の田副公一さんから回文の作り方について、わかりやすい指導がありました。



必死に札を探す選手たち